

京都:Re-Search 2020

京都府内では交流人口の拡大、地域の活性化へ繋げるさまざまな取組を行っています。その一つとして、アーティストが一定期間滞在し、地域で制作を行うアーティスト・イン・レジデンス事業※「京都:Re-Search」を実施し、地域が本来持ち得ている魅力やそのポテンシャルをアートの視点から引き出すことを試んでいます。

アーティスト・イン・レジデンスとは...

- 芸術制作を行う人物が、ある土地に一定期間滞在しながら作品制作を行うチャンスを提供する事業のこと。
- (日本国内では)アーティストの育成や支援だけでなく、空き家・商店街の空店舗を活用した地域振興や人の交流による地域活性化の手段としても用いられている。

京都:Re-Search 2020 in 南丹

令和2年度は、南丹市において、短期アーティスト・イン・レジデンス事業「京都:Re-Search 2020 in 南丹」を実施します。令和2年9月7日から9月20日の14日間にわたり、京都府内のみならず、ほかの地域で活動するアーティストや工芸家、デザイナー、建築家など、クリエイティブな分野で活動されている人が南丹市に滞在しながら、各自が設定したテーマに沿って、ゲストアーティストと共に、南丹の風土や歴史等の調査を行います。南丹での発見を活かしたアートプロジェクトや作品プランの構想を立て、次年度にアートプロジェクトや作品プランの実現を目指します。またそれらを記録しデータ化していき、地域の新たなアート・ドキュメントを作っていきます。講師には、国際的に活躍しているアーティストやキュレーターたちを迎え、リサーチの手法を学ぶワークショップやフィールドワーク、参加者が行うリサーチへのアドバイスを予定しています。



01 / 02 リサーチの様子
03 ワークショップの様子

申込みについて

令和2年6月8日(月) - 令和2年7月10日(金) 17時まで

参加申込書
ダウンロード先 [www.pref.kyoto.jp/bungei/
artist-in-residence.html](http://www.pref.kyoto.jp/bungei/artist-in-residence.html)

参加申込書
送付先 bungei@pref.kyoto.lg.jp

応募方法

参加申込書をダウンロードし
必要事項を記載の上、
メールにて提出して下さい。

※申込の際、メールの件名に
「南丹参加希望」と記載し送付下さい。

問合せ先

京都:Re-Search実行委員会事務局
〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入薮ノ内町
京都府文化スポーツ部文化芸術課内

TEL 075-414-4279 (平日8:30~17:15)
MAIL bungei@pref.kyoto.lg.jp

京都府アーティスト・イン・ レジデンス事業

募集要項

【募集締切】

2020.7.10 (金)
17時まで

京都: Re-Search 2020 in 南丹

kyoto-research.com

参加者募集!!

【ゲストアーティスト】

荒木 悠 [映像作家]

【プログラムサポート講師】

長谷川 新 [インディペンデントキュレーター]

彦坂 敏昭 [画家]

事業概要
ABOUT

01 実施期間	令和2年9月7日(月)～9月20日(日)
02 講師	・荒木 悠 [映像作家] ・長谷川 新 [インディペンデントキュレーター] ・彦坂 敏昭 [画家]
03 滞在(宿泊)場所	京都府南丹市内の滞在施設 ※ただし、個室なし、男女別の共同部屋となります。
04 募集人数	5名程度
05 応募資格	・本事業開始日に20歳以上40歳以下の方 ・期間中のすべてのプログラムに参加できる方
06 事業中の助成内容	・調査経費及びアーカイヴ作成費として 1名当たり5万円を助成 ・居住地から南丹市内までの交通費として 1名当たり上限3万円を助成 ・滞在施設の提供 ※9月7日-9月20日 そのほか滞在に関わる費用は自己負担
07 募集期間	令和2年6月8日(月)～ 令和2年7月10日(金)17時まで
08 選考等のスケジュール	提出いただいた書類を元に選考を行います。 (1) 選考ポイント ・本人の意欲 ・独創的なリサーチ計画 (2) 結果通知 令和2年7月20日(月) 応募者全員に選考結果をメールで通知いたします。
09 事業主体	京都:Re-Search実行委員会 (構成：京都府、南丹市ほか)

若手のアーティストや工芸家、デザイナー、建築家など、クリエイティブな分野で活動されている人が南丹市に滞在しながら、各自が設定したテーマに沿って、ゲストアーティストと共に、地域の風土や歴史等の調査し、そこでの発見を活かしたアートプロジェクトや作品プランの構想を立て、次年度の実現を目指します。あわせて、その活動をデータ化しウェブサイト、SNSで発信すると共にアートの視点による地域の新たなドキュメントを作成していきます。

講師プロフィール
PROFILE



映像作家

荒木 悠
Yu Araki

1985年生まれ。再現・再演・再話の手法を試み、ある事象や象徴の再解釈を提示する映像インスタレーションを展開している。2019年は個展「RUSH HOUR」CAI02(札幌)、「ニッポンノミヤゲ」資生堂ギャラリー(東京)、「New Apéritif」スプリングパレーブルワリー(京都)を開催、また Sprout Curation(東京)、アートソング・センター(ソウル)、ピンチューク・アートセンター(キエフ)、Palazzo Ca 'Tron(ヴェネツィア)でのグループ展に参加。展覧会の形式にとどまらず、近年では映画祭でも作品が上映されている。



《戯訳三部作》
映像インスタレーション、2019年
「CONTACT つなぐ・むすぶ日本と世界のアート展」
での展示風景、清水寺成就院 撮影：表恒匡



《利未記異間》
ミクストメディア・インスタレーション、2016年
「岡山芸術交流 2016」での展示風景、
旧後楽館天神校舎跡地



インディペンデント
キュレーター

長谷川 新
HASEGAWA Arata

1988年生まれ。主な企画に「無人島にて-「80年代」の彫刻/立体/インスタレーション」(2014、京都)、「パレ・ド・キョート/現実のたてる音」(2015、京都)、「クロニクル、クロニクル!」(2016-17、大阪)、「不純物と免疫」(2017-18、東京、沖縄、バンコク)、「STAYTUNE/DJ」(2019、富山)、「グランリバー」(2019、メキシコシティ)、「約束の凝集」(2020、東京)など。美術評論家連盟会員、国立民族学博物館共同研究員、日本建築学会書評委員、日本写真芸術専門学校講師、PARADISE AIR ゲストキュレーター、スタジオ四半世紀。



画家

彦坂 敏昭
HICOSAKA Toshiaki

1983年生まれ。絵画を広いパースペクティブの中でのコミュニケーション手段と捉え、人とイメージの関係を問いなおす実践を展開している。2015年はポーラ美術振興財団在外研修員としてイギリスとアイスランドに滞在。2009年はボロック・クラズナー財団(ニューヨーク)より制作支援を受ける。主な個展に大和日英基金(ロンドン / 2017)、AISHONANZUKA(香港 / 2016)、大原美術館(岡山 / 2009)、資生堂ギャラリー(東京 / 2008)など。また、兵庫県立美術館、京都芸術センター、東京都現代美術館などでのグループ展に参加。京都芸術大学こども芸術学科講師。木曾路。

ワークショップスケジュール
WORKSHOP SCHEDULE

9/7(月)	ガイダンス及びゲストアーティストとの交流会	
	時間 15:00～ 会場 南丹市内 講師 荒木 悠	
9/8(火)	フィールドワーク、その後参加者からのプレゼンテーションとゲストアーティストによる講評 講師 荒木 悠	
9/9(水)～ 9/13(日)	各自リサーチ 期間 計5日間	
9/14(月)	ワークショップ①「地域とアートプロジェクト」※1 講師 長谷川 新	
9/15(火)	参加者による中間報告会及び ゲストアーティストによる講評 講師 荒木 悠	ワークショップ②「折り返しディスカッション」※1 講師 彦坂 敏昭×荒木 悠
9/16(水)～ 9/18(金)	各自リサーチ 期間 計3日間	
9/19(土)	講評会及び活動報告展 ※2 活動資料などを用いたレジデンス期間の報告を行います。 講師 荒木 悠	
9/20(日)	参加者の活動報告展 活動資料などを用いたレジデンス期間の報告を行います。	

※1 本プログラムでのワークショップとは、情報の交換や共有のみならず、アイデアの出し合いやディスカッションを繰り返し、各自が設定したテーマに沿ったアートプロジェクトや作品プランの実現に向けた戦略や施策などを固めていくものです。

※実施期間中、下記プログラム以外は、各自の計画により南丹市内を調査し、アートプロジェクトや作品プランの構想を策定します。
※スケジュールは予定であり、実施にあたっては変更する場合があります。

※2 次年度、本プログラムで提案されたアートプロジェクトや作品プランをもとにした展覧会を伴うアーティスト・イン・レジデンス事業「大京都 2021 in 南丹」の開催を南丹市内で予定しています。

